



あっという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨に移り変わりました。

ゴールデンウィークはコロナウィルス感染症防止の観点から、外出を控え、ご家庭で過ごすことが多かったと思います。ワクチン接種もなかなか進まない中、オリンピックの開催も危ぶまれてきました。さて、組織委員会の森会長の女性蔑視発言が取りざたされたのは、2月のことでした。日本では、あらゆる分野で女性が不利益を被っています。「非正規雇用比率が女性の方が高い」、「大学進学率が女性の方が低い」、「各分野における指導的地位（国会議員や管理職など）に占める女性の割合が低い」といったことは、ご存知の方も多いかと思いますが。

では、男性は女性に比べて幸せに生活しているのでしょうか？実は男性は「有害な男らしさ」（1980年代にアメリカの心理学者が提唱した言葉らしいです）に苦しめられているということが、「これからの男の子たちへ『男らしさ』から自由になるレッスン」（太田啓子）という本に書かれています。「男だったらメソメソするな！」「男性は出世をめざして当然！」などが「有害な男らしさ」に当たるでしょうか。よく泣く男の子はダメなのでしょうか？その子は、相手の立場に立って考えられる感受性豊かな男の子かもしれない。また、出世できない男性はダメ人間なのでしょうか？決してそうではないですよ。出世できなくても家事や子育てをがんばっている男性もいるはずですよ。

太田さんは、この本の最後で決して特別なことではないとして、「女性を人間として、ふつうに尊重すること」、「『男らしさ』を競うことをやめ、『男らしくない』人をバカにしないこと」を求めています。また、タレント・エッセイストの小島慶子さんは、自分の息子さんたちに「勇気とは、自分の弱さについて考えるという、いちばんしたくないことをできる力のことだよ。」と常々伝えているそうです。また、太田さんは、「さまざまな差別は、自分の不安を紛らわそうとする、人間の弱さから生じているのではないか」とも述べています。自分の弱さに目を向けるのはつらいことですが、不安な気持ちから目をそらし、特定の人たちを自分より下だと見下すことで安心することはやめるべきですよ。誰もが自分の弱さについて考えることができれば、もっと良い社会になるのではないかと思います。自分の弱さに向き合う勇気を持ちたいものです。興味を持たれた方は、ぜひ、ご一読ください。



高等部主事 小畑 伸五

◆保護者へのお知らせ

- ・6月から夏服への衣替えの時期となっていますが、天候や体調に応じて服装の判断をお願いします。また、水分補給のため、お茶は多めに持たせてください。
- ・6月25日（金）はプール開きです。水着など水泳の準備をお願いします。水泳の授業予定については、連絡帳等でお知らせします。

◆6月の行事予定

3（木）現場実習通勤練習挨拶（高等部）～4日 宿泊学習（中1）～4日	16（水）応募前企業ガイダンス（高等部希望者）
7（月）前期現場実習（高等部）～11日 授業参観（小中学部） （育）広報部会	17（木）理科社会の日（高等部）
14（月）現場実習事後学習 ～15日	18（金）中学校教員向け高等部説明会
15（火）和歌山大学生1日実習	21（月）音楽鑑賞会 教育実習事前実習（1日目）
	22（火）内科検診 教育実習事前実習（2日目）
	25（金）年長児保護者向け小学部説明会 プール開き

◆6月の保健行事

体重測定・・・1日（火）高等部F・Sコース、2日（水）小中学部
22日（火）内科検診

